

# 2009年度各カテゴリー日本代表選手選考要項

財団法人日本水泳連盟水球委員会

## ●日本代表選手団編成方針

日本代表選手団は、礼儀を尊び規律を遵守し、活力ある日本を代表するにふさわしい選手・役員をもって編成する。なお選手は、下記による選考過程により、国際舞台で十分な活躍が期待できる者を選考する。

## ●選考方法

育成年代からナショナルチームに至る日本代表チームの強化を目的として、2009年度は下記国際競技会への参戦を計画している。については、各カテゴリーの日本代表選手の選考について以下の要領で実施する。

## ●選考カテゴリー及び選考会スケジュール(男女各2カテゴリー)

性別・カテゴリー	年齢等規定	2009年度目標大会	選考(時期・場所)
スクワッド 男女	規定無し	・ワールドリーグアジア大洋州予選(5月・オーストラリア、ニュージーランド) ・ワールドリーグスーパーファイナル(6月・男子:モンテネグロ 女子:ロシア)	2009年4月4・5日 国立スポーツ科学センター 第1日目:体力測定 午後3時~5時(女子) 午後5時~7時(男子)
ユニバーシアード 男女	1981年1月1日以降生まれの大学生・大学卒業生	ユニバーシアード(7月・セルビア)	第2日目:試合
ジュニア 男女	1991年1月1日以降生まれ(18歳以下)	アジアエージグループ選手権(8月・東京)	午前10時:女子2試合 午後3時:男子2試合

## ●選考の方法及び手順

○期間:2日間の選考会(1日目:体力測定 2日目:選考試合)とする

※体力測定:フィールド選手4項目 キーパー3項目:各カテゴリーの基準値と測定項目の実施手順については [別紙資料及び\(財\)日本水泳連盟ホームページ](#)を参照のこと

※選考試合(戦術理解評価):攻防6項目(セットオフenseの攻防、退水時の攻防、カウンターの攻防)について、3人の採点者による5点満点採点(監督のみエクストラポイント付加)

○参加条件:日本代表選手候補としての高い資質を持つとして、所属チーム監督による推薦を受けた選手

○費用及び申し込み:参加にかかる個人費用(交通費等)は全額自弁とし、**2009年3月15日(日)**までに[別紙申込書](#)を電子メールにて下記宛先まで送付のこと

○手順1:当該カテゴリーの代表監督を中心として、財団法人日本水泳連盟水球委員により構成された選手推薦委員会が体力測定、戦術理解の結果を元に総合的に評価し、ポジション毎に選手を推薦する

○手順2:選手推薦委員会より財団法人日本水泳連盟選手選考委員会に提出し、審議をうける

○手順3:選手選考委員会による選考結果を、財団法人日本水泳連盟公式ホームページにて公開通知する

※男女スクワッドに関しては、2009年度の全ての国際大会を対象とする代表選手とする

※2008年度の男女日本代表選手(スクワッド代表、及びAge91代表)に関しては、財団法人日本水泳連盟水球委員会より選考会参加依頼状を出状するので申し込みの必要は無い(参加にかかる個人費用は自弁)

※財団法人日本水泳連盟水球委員会の承認を受けた海外強化選手は、選考会への参加を免除する

※ユニバーシアード代表選手は、スクワッドの試合を対象として審査を行うため、1991年生まれ以上の大学生でアジアエージグループ選手権とユニバーシアードの両方を狙う選手は、2試合(スクワッド・ジュニア)に出場しなければならない(申込書に必ずその旨を明記すること)

※1993年1月1日以降生まれでAge93の体力測定基準値を突破している参加選手については、選手推薦委員会により突出した能力が認められた場合は、将来性を鑑みジュニア代表選手として選考されることがある

## ●参加申し込み及び問い合わせ先:

榎本 至(財団法人日本水泳連盟水球委員会技術部) [japanwaterpolo@hotmail.co.jp](mailto:japanwaterpolo@hotmail.co.jp)